

## 第4回\_A 班議事録

日時: 2025 年 2 月 16 日 (日)

場所: 前橋市中央公民館

### 参加者

- ・ 前橋市職員
- ・ コーディネーター
- ・ 委員

### 1. 提案書の整理

- お互いを理解し助け合う人づくり
  - 障害者への理解、認識の不足、人との交流の希薄などの心理的なバリアを取り除くために、学校や地域で障害者理解の教育を推進。
  - インクルーシブ教育の推進、近所の人への声かけ運動、ボランティア活動への参加を通じて、自然に付き合える社会を作る。

### 2. 当事者の声を活かした社会のしくみづくり

- 障害者の声を聞く
  - 障害者の声を聞いてから決めることの重要性。
  - 例えば、車椅子のスロープの角度や幅の問題など、実際の障害者の声を反映した改善が必要。

### 3. 暮らしやすい社会を実現する環境づくり

- 物理的・情報的な問題
  - 道路の使いづらさ、階段や段差の問題、案内看板の見えにくさなどを改善。
  - 障害者に対応した情報提供の手段を考える。
  - 地域での訓練や情報共有を通じて、非常時に対応できる体制を作る。

#### 4. 支援の充実

- 福祉の観点
  - 支援を充実させるだけでなく、その他の方法で福祉の問題を解決することが重要。
  - 参加者の経験や知識を生かした議論の結果として整理された内容。

#### 5. 障害者の意見を聞く場の不足

- 地域福祉計画の策定
  - 障害者団体との意見を聞く場が必要。
  - 社会福祉協議会と連携して計画を作る。

#### 6. 障害者との交流の重要性

- 体験事業の必要性
  - 障害者の意見を聞いてお手伝いをする体験が重要。
  - 地域での交流を増やすための体験事業の検討。

#### 7. 障害者の声を引き出す方法

- 本人に直接聞く
  - 本人に直接聞くことが重要。
  - 子供の頃からの交流の必要性。

#### 8. 社会的な問題としての障害

- 社会的な問題
  - 障害者と健常者の線引きを乗り越えるための手段の議論が必要。

#### 9. 支援の責任と躊躇

- 支援の責任
  - 車椅子の操作や手伝いの際の責任について議論。
  - 妊婦マークのようなヘルプマークの導入の提案。

## 10. 福祉教育の重要性

- 福祉教育
  - 社会福祉協議会が進める福祉教育の重要性。
  - 小学校のプログラムに車椅子の体験授業や目の不自由な人の体験を導入。

## 11. 社会福祉課と社会福祉協議会の区別

- 区別の難しさ
  - 市の社会福祉課と社会福祉協議会の区別がつきづらい。
  - 車の両輪としての役割。

## 12. 地域福祉の進め方

- 町社協の役割
  - 地域福祉を進めるための町社協の役割。
  - 自治会との連携の重要性。

## 13. ワークショップの感想

- 参加者の感想
  - ワークショップの目的や地域福祉計画の策定についての感想。
  - 提案書の作成が一つの仕事であり、これからの課題。